

5G・XR・3DPrinting 技術を活用した歯科領域の遠隔手術支援の実証実験を実施
～東京と大阪間で、VR・AR映像を通して診断・治療の指導と手術の支援を行う～



林 大智



丸尾 瞳子

現在、若い歯科医師の臨床現場における診断・治療は上級医との Face to Face が主体をなしている。その多くがクリニック完結型であり、歯科医師が勤務するクリニックや地域により知識・技術のばらつきを認める。歯科医師の知識・治療技術向上のためウェブセミナーや勉強会が行われているが、一方的に講演するものであり、Hands On Seminar であっても術式の一部を切り取ったものであった。そのため若い歯科医師は新しい知識や技術習得が困難な場合が散見されている。今回我々は歯科臨床問題に対して 5G・XR¹・3DPrinting 模型を用いた実証実験を経験したので報告する。

1: VR は医用画像や実写映像、CG アニメーションなどを用いて、人体構造、病態生理、臨床現場などを、臨場感を持って再現した仮想現実のことである。この VR に現実世界を重畳して体験可能になると拡張現実 AR となる。さらに VR 環境と現実世界を時間的・空間的に整合し融合した複合現実 MR と呼ばれる。これらを総称して XR と呼ぶ。